別記様式12号

時津警察署協議会第１回会議議事概要

日　　時	令和２年１月31日（金）14時00分～15時15分
場　　所	時津警察署講堂
出　席　者	１　協議会 朝居会長　今里委員　太田尾委員　大場委員　小林委員 冨松委員　濵添委員　原田委員　比地委員　百田委員 ２　警察署 鷺池署長　山﨑警務課長　井村生活安全課長　金子交通課長 ３　書　記 警務係長
会議の状況	１　前回会議での協議会の意見に対する推進状況について 生活安全課長及び交通課長から、前回協議会の提出意見である「年末年始に向けてのパトロールの強化」に対する推進状況について、次のとおり説明があった。 (1) 管内の犯罪情勢 (2) 管内の交通情勢 (3) 年末警戒実施状況 ア　金融警戒（金融機関、景品交換所） 管内の銀行、郵便局、パチンコ景品交換所など41か所に専属警戒員を配置し警戒を実施した。 イ　夜間警戒 管内のコンビニエンスストアなど44店舗に専属の警戒員を配置し警戒を実施した。 ウ　夜間交通取締り (ｱ) 12月中、夜間における飲酒運転取締りを実施した。 (ｲ) 12月31日、暴走族取締りを実施した。 エ　令和元年12月中の情勢 (ｱ) 刑法犯発生・検挙状況 (ｲ) 交通事故の発生状況 ２　諮問テーマへの協議会の答申に対する推進状況について 交通課長から、前回協議会の諮問テーマ「高齢者の交通事故防止対策について」への答申「運転免許証自主返納者数などの具体的数字を示した広報活動の推進」に対する推進状況について、次のとおり説明があった。 (1) 時津署だよりによる広報活動 昨年と比較し運転免許証自主返納者数がどの程度増加したのかを示した時津署だよりを作成し、当署のホームページに掲載したほか時津警察署高齢者安全・安心アドバイザー事業所を通じての配布を実施した。 (2) 会合における広報活動

交通講話や会議において、時津警察署管内や各町の運転免許証自主返納者数を説明し、交通事故抑止に向けた広報啓発活動を実施した。

(3) 広報キャンペーンの実施

各地区で開催された各種催し事において、警察官が高齢者の交通事故防止の広報ビラ等を配布し広報キャンペーンを実施した。

3　令和元年10月から12月までの業務重点推進結果について

署長から、次のとおり説明があった。

(1) 犯罪の起きにくい社会づくりの推進

ア　各種犯罪抑止対策の推進

(ｱ) 関係機関等の各種会議における情報共有

(ｲ) ボランティア等との連携による犯罪抑止活動

(ｳ) 学校等における不審者侵入訓練の実施

(ｴ) 各種広報啓発活動の実施

イ　特殊詐欺被害防止対策の推進

(ｱ) 特殊詐欺被害防止キャンペーンの実施

(ｲ) その他の広報啓発活動

(2) 各種犯罪検挙の強化

ア　街頭活動の強化による犯罪検挙活動の推進

(ｱ) 刑法犯発生・検挙状況

(ｲ) 主な検挙事例

イ　暴力団犯罪及び薬物・銃器犯罪の検挙（主な検挙事例）

(3) 年末に向けた交通事故防止対策の推進

ア　年末の交通安全県民運動の推進

(ｱ) 管内の交通情勢

(ｲ) 交通安全運動期間中（12/16～12/25)の交通事故発生状況

(ｳ) 交通安全県民運動期間中の取組

イ　交通事故抑止に向けた広報啓発活動の更なる推進

(4) 実態把握活動の強化

ア　街頭活動を通じた実態把握

イ　地域住民との会合を通じての実態把握

(5) テロ対策の推進

ア　官民一体となったテロ対策の推進

(ｱ) 爆発物原料対策（化学物質取扱業者、教育機関等）

(ｲ) 不審者通報依頼（ホテル、レンタカー業者等）

(ｳ) ローマ教皇来県(11/24)に伴う警備活動

(ｴ) 署員に対する教養

イ　広報啓発活動の実施

(ｱ) イベント会場における広報活動

(ｲ) 大型モニターを利用した広報（時津町）

(ｳ) ミニ広報紙による広報（ローマ教皇来県に伴うドローン規制）

(ｴ) 時津警察署ホームページにおける広報(テロの未然防止)

(6) 犯罪被害者支援に関する広報

ア　犯罪被害者支援ネットワーク会議の開催（11/26）

イ　犯罪被害者支援広報キャンペーンの実施

	４　業務重点推進計画について 　署長から、次のとおり説明があった。 (1) 各種犯罪抑止対策の推進 (2) 特殊詐欺被害防止対策の推進 (3) 窃盗犯の捜査強化及び検挙推進 (4) 特殊詐欺事件捜査の推進 (5) 高齢者の交通事故防止対策の推進 (6) 広報啓発活動の推進 (7) 犯罪抑止等に資する情報発信活動の強化 (8) 東京オリンピック・パラリンピック大会に向けたテロ対策の推進 (9) テロの未然防止に対する住民の意識高揚対策の推進
提　出　意　見	○　交通マナー向上の更なる強化について 　ウィンカーを出さないで右左折するなど、長崎県は交通マナーが悪いと考えられることから、交通マナー向上の更なる強化をしてもらいたい。